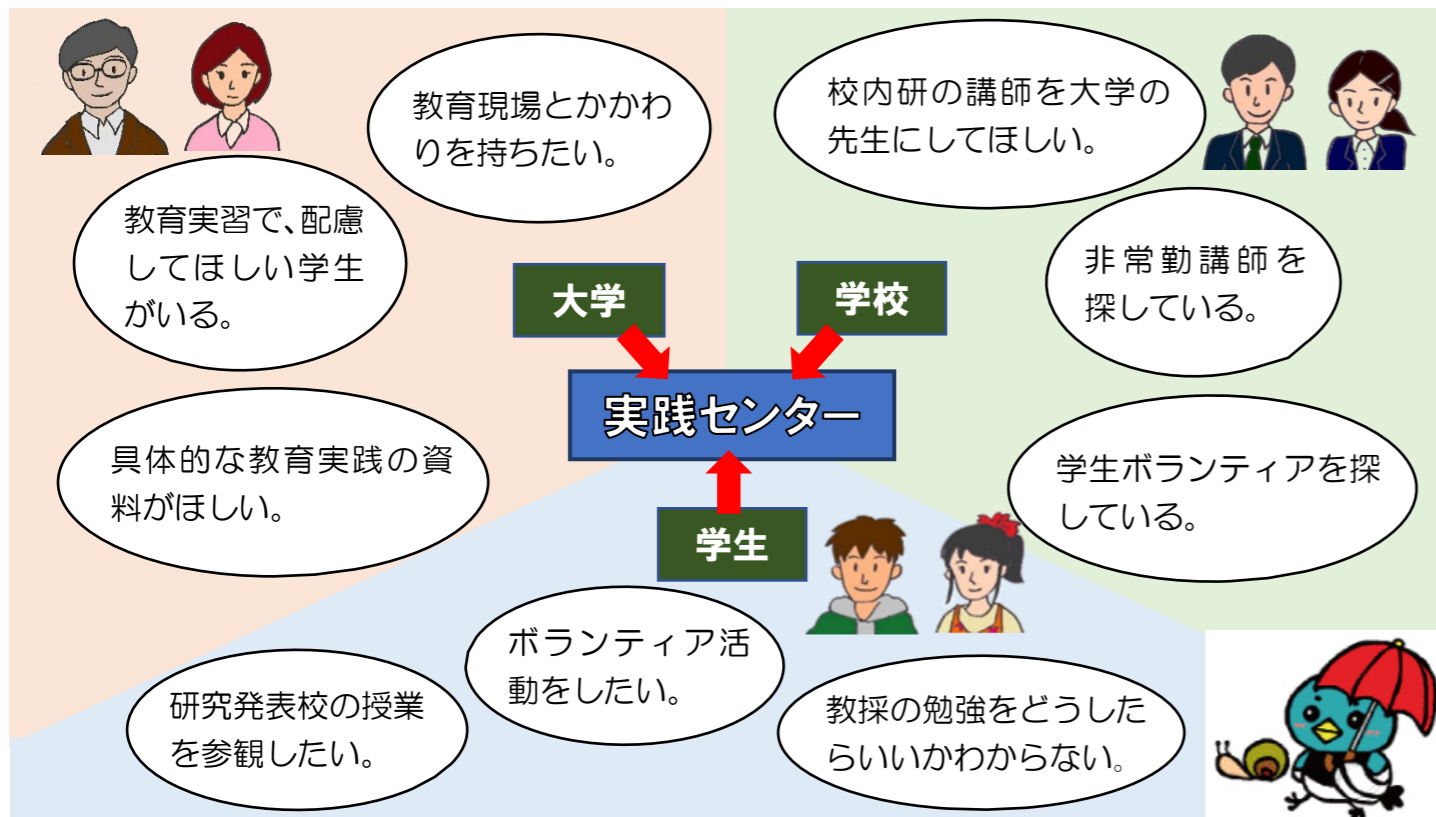


こんな時は、実践センターにご相談を

大学が掲げる地域貢献活動を実践センターは推進しています。大学の専門性を有する教員と、教職を志望している学生をご活用ください。また実践センターは、大学の教員や学生たちの様々な要望にも積極的に対応しています。ご相談内容に応じて担当者に対応します。学外での活動でお役に立てそうなことがございましたら、電話かメールでご相談ください。



スタッフ紹介

<p>実践センター長・教育実践研究部門 教授 和久屋 寛 WAKUYA Hiroshi 実践センターの伝統を守ります。</p>	<p>教育臨床部門 准教授 石井 宏祐 ISHII Kosuke 実践センターの発展に努めます。</p>
<p>教職支援部門 准教授 松信 尚子 MATSUNOBU Naoko 様々なニーズに応じます。</p>	<p>事務 吉岡 邦康 YOSHIOKA Kuniyasu 実践センターの取組をしっかりと支えます。</p>

佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL0952-28-8214 / Fax0952-28-8219 (事務: 吉岡)

E-mail: icerd@ml.cc.saga-u.ac.jp

ホームページ: <http://icesu.pd.saga-u.ac.jp/>



2024 年度版

佐賀大学教育学部

附属教育 実践総合センター



～時代のニーズに対応できる魅力ある教員の養成と研修、
共に歩み、共に発展する地域貢献を目指して～

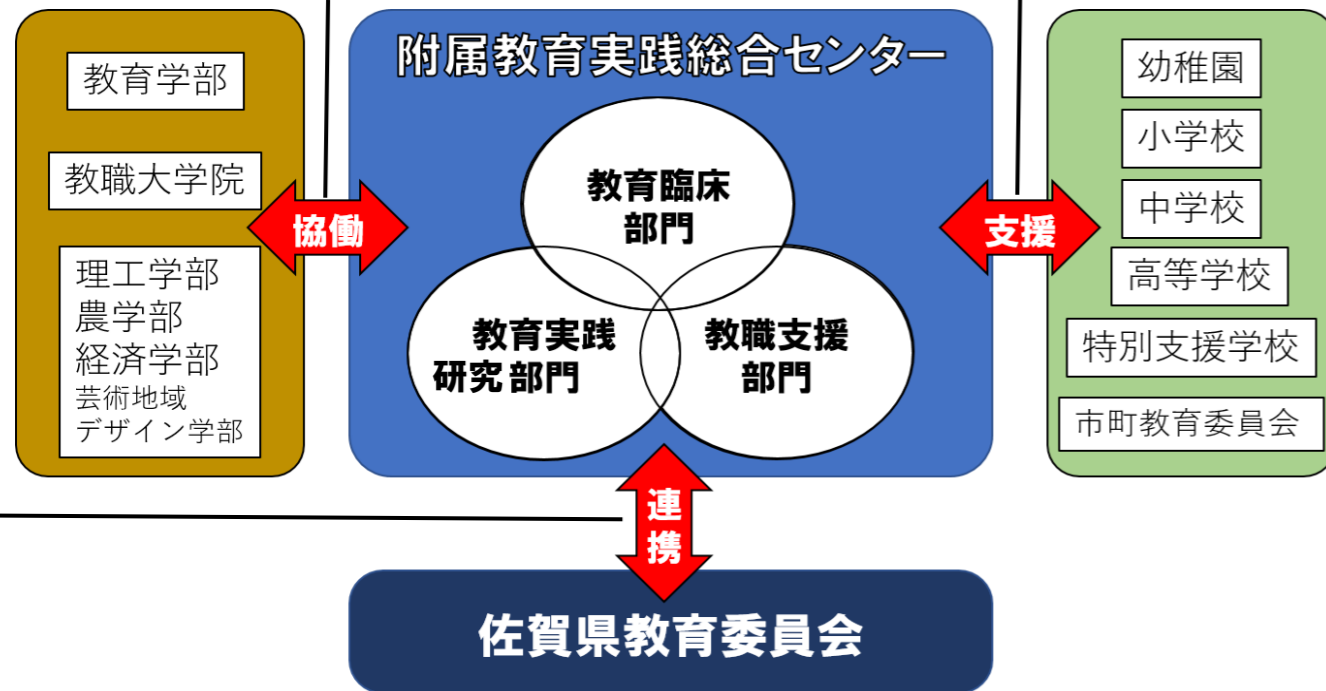
実践センター長より

当センターは、附属学校園、学内外の関係機関と連携し、教育実践及び教育臨床に関する理論的・実践的研究と指導を行います。

附属教育実践総合センターは、教育指導法や授業分析法の研究を目的とする教育学部の附属センターとして、1984年(昭和59)年4月に「教育実践研究指導センター」という名称で設置されました。同センターは当初、専任1名のみでの布陣でしたが、2002(平成14)年4月に現在の「教育実践総合センター」への改編がなされるとともに、新たに「教育実践研究部門」と「教育臨床部門」が組織されました。この2部門体制をもっていじめ・不登校・発達障害といった深刻な教育問題への対処法の実践研究を行いました。また、教育実践研究指導センター時代より研究紀要として「教育実践研究指導センター紀要」を刊行しており、現在は「佐賀大学教育実践研究」と改題して発行しています。

現在は、「教職支援部門」を加えて3部門体制をとっており、様々な教育課題を抱える教育現場に一人でも多くの優秀な教員を送り出すこと、高い資質と課題解決力を育む教員研修の一翼を担うことを同センターの使命とし、その役割を果たすことに努めています。

きめ細やかな保護者・児童生徒・教員を対象とした教育相談
 新しい教育課題に応じた教育情報の発信
 教育実践探求力が身につくことを目指した教育実習指導



平成16年度、大学と教育委員会との間で連携・協力協定を締結して以降、教員の養成及び資質・能力の向上や、学校教育上の諸課題への対応を図る取組を地道に重ね、現在は14の連携・協力事業を行っています。その内、実践センターは10の事業にかかわっており、大学の窓口として事業実施の調整をしたり、事業計画を立案したりするなど、実践センターは連携・協力事業の推進に中心的な役割を果たしています。

教育委員会と大学の連携事業

教員養成研修改革協議会

学校支援活動

「教職実践演習」の実施と教員養成カリキュラムの見直し

養護教諭等教育相談力向上研修プログラム

中堅教諭等資質向上研修等研修機会の多様化

小中連携による学力向上推進地域指定事業

ICT活用による学校支援

教師力・学校力向上に資する実践研究

実践的指導力向上事業

学び続けるトップリーダーの資質向上事業

教育臨床部門

先生方、保護者の方々とともに、地域の子供たちの心を支えます !!

チーム学校の一員として、地域の子供たちのカウンセリングや心理検査、保護者の方々からのご相談、先生方との話し合いなどの支援を行っています。また、心理的ケアに関する実践研究も進めています。



(1) 心理相談・教育相談に関すること

- 地域の学校園や連携機関からの依頼を受けて、相談業務を行う
- 地域の子供からの依頼を受けて、相談業務を行う
- 地域の保護者からの依頼を受けて、相談業務を行う
- 附属学校園の教育相談を行う
- 心理的ケア等に関する実践研究を行う
- 心理相談部門と発達相談部門の機能分化と連携を促進する

(2) 教育相談に関する研修

- 附属学校園の教育相談や特別支援などのあり方について、助言する
- 附属学校園の教育相談体制づくりに協力する

教育実践研究部門

小・中学校の教材開発、授業方法、学習用ネット環境等の支援

附属学校園や代用附属学校と連携して、教材開発や授業改善等の支援を行います。各校種、各教科等から幅広く教育実践を集め、「主体的で、対話的で、深い学び」につながる授業開発のための教育研究を行っています。



(1) プロジェクト型授業実践研究

- プログラミング教育における学習教材の開発
- 児童・生徒のコミュニケーション能力向上のための教育の実践的研究
- 情報モラル教育の啓発活動
- 教科横断的な STEAM 教育の教材開発

(2) 附属学校園との共同研究

- 共同研究の体制づくり
- 附属学校園が目指す教師像の検討

(3) 教育活動成果の公開

- 教育実践研究のデータベース化
- 紀要の編集

教職支援部門

学生の教員養成、学校の教員研修を全面的にバックアップ !!

教育現場と大学をつなぎ、教育への情熱と実践的指導力を備えた教員を養成することに努めています。また、各学校のニーズに応じて『具体的で継続的な支援』をモットーに、教育現場の研究活動や教育課程の開発などの支援を行っています。

(1) 教育実習の支援

- 学部における教育実習指導(説明会・事前・直後・事後指導等)を行う
- 配慮が必要な学生について、実習校に説明とお願いをする
- 教育実習期間中随時実習校を訪問し、必要に応じて学生の支援を行う

(2) 教職を目指す学生の支援

- 教員採用試験を受験する学生への受験対策指導および個別の相談対応を行う
- 「教採支援室」(教育学部1号館2階多目的室)の環境整備(自習環境・模擬授業環境の整備、教員採用試験関連資料の収集と配架、試験情報の提供等)を行う
- 教職を目指す学生たちに研修会や授業公開等の情報を提供するとともに、学生の自主的な取組を支援し、学生から教師への円滑な移行が可能となるように、『教師へのあゆみ』の取組を行う

